

平成27年度 中国地方整備局関係予算概要(鳥取県内)

鳥取河川国道事務所
倉吉河川国道事務所
日野川河川事務所
境港湾・空港整備事務所
出雲河川事務所
三次河川国道事務所

【問い合わせ先】

鳥取河川国道事務所	(河川)副所長	後藤 誠志	TEL 0857-22-8435(代)
	(道路)副所長	川上 隆三	
倉吉河川国道事務所	(河川)副所長	川上 暁洋	TEL 0858-26-6221(代)
	(道路)副所長	赤星 剛	
日野川河川事務所	(技術)副所長	實光 則夫	TEL 0859-27-5484(代)
境港湾・空港整備事務所	(技術)副所長	谷渚 敦	TEL 0859-42-3145(代)
出雲河川事務所	(技術)副所長	古南 弘史	TEL 0853-21-1850(代)
三次河川国道事務所	(技術)副所長	貞任 俊典	TEL 0824-63-4121(代)

目 次

■ 平成 2 7 年度 中国地方整備局（鳥取県内） 予算総括表	1
■ 平成 2 7 年度 主な完成予定事業箇所（鳥取県内）	2
■ 主要事業箇所（鳥取県内）	3
■ 平成 2 7 年度 中国地方整備局（鳥取県内） 事業の概要	4～8
■ 主要事業箇所別事業費 中国地方整備局（鳥取県内）	9

<資料編>主要事業箇所の概要

河川事業

・ 河－ 1 (鳥取)千代川一般河川改修事業（徳吉地区）	1 1
・ 河－ 2 (倉吉)天神川一般河川改修事業（小鴨地区）	1 2
・ 河－ 3 (倉吉)天神川一般河川改修事業（秋喜地区）	1 3
・ 河－ 4 (日野川)日野川一般河川改修事業（米子市青木地区）	1 4
・ 河－ 5 (出雲) 斐伊川一般河川改修事業（旗ヶ崎地区）	1 5
・ 河－ 6 (出雲) 斐伊川総合水系環境整備事業（中海・宍道湖）	1 6
・ 河－ 7 (鳥取) 千代川河川工作物関連応急対策事業	1 7

砂防事業

・ 砂－ 1 (倉吉)大山山系直轄火山砂防事業（天神川水系）（三朝町吉田地区）	1 8
・ 砂－ 2 (倉吉)大山山系直轄火山砂防事業（天神川水系）（倉吉市野添地区）	1 9
・ 砂－ 3 (倉吉)大山山系直轄火山砂防事業（天神川水系）（三朝町木地山地区）	2 0

- ・ 砂－４(日野川)大山山系直轄火山砂防事業（日野川水系） 2 1

海岸事業

- ・ 海－１(日野川) 皆生海岸保全施設整備事業 2 2

道路事業

- ・ 道－１(鳥取) 山陰道 鳥取西道路 2 3
- ・ 道－２(鳥取) 中国横断自動車道姫路鳥取線 智頭～鳥取 2 4
- ・ 道－３(倉吉) 山陰道 米子道路 2 5
- ・ 道－４(倉吉) 鳥取９号交差点改良等（湯梨浜・北栄地区事故対策） 2 6
- ・ 道－５(倉吉) 鳥取９号交差点改良等（別所地区交差点改良） 2 7
- ・ 道－６(鳥取) 鳥取２９号交差点改良等（花歩道整備） 2 8
- ・ 道－７(鳥取) 道の駅「神話の里 白うさぎ」 2 9
- ・ 道－８(鳥取) 橋梁の老朽化対策 3 0

港湾事業

- ・ 港－１(境) 鳥取港防波堤整備事業 3 1
- ・ 港－２(境) 境港ふ頭再編改良事業 3 2
- ・ 港－３(境) 境港国際物流ターミナル整備事業 3 3

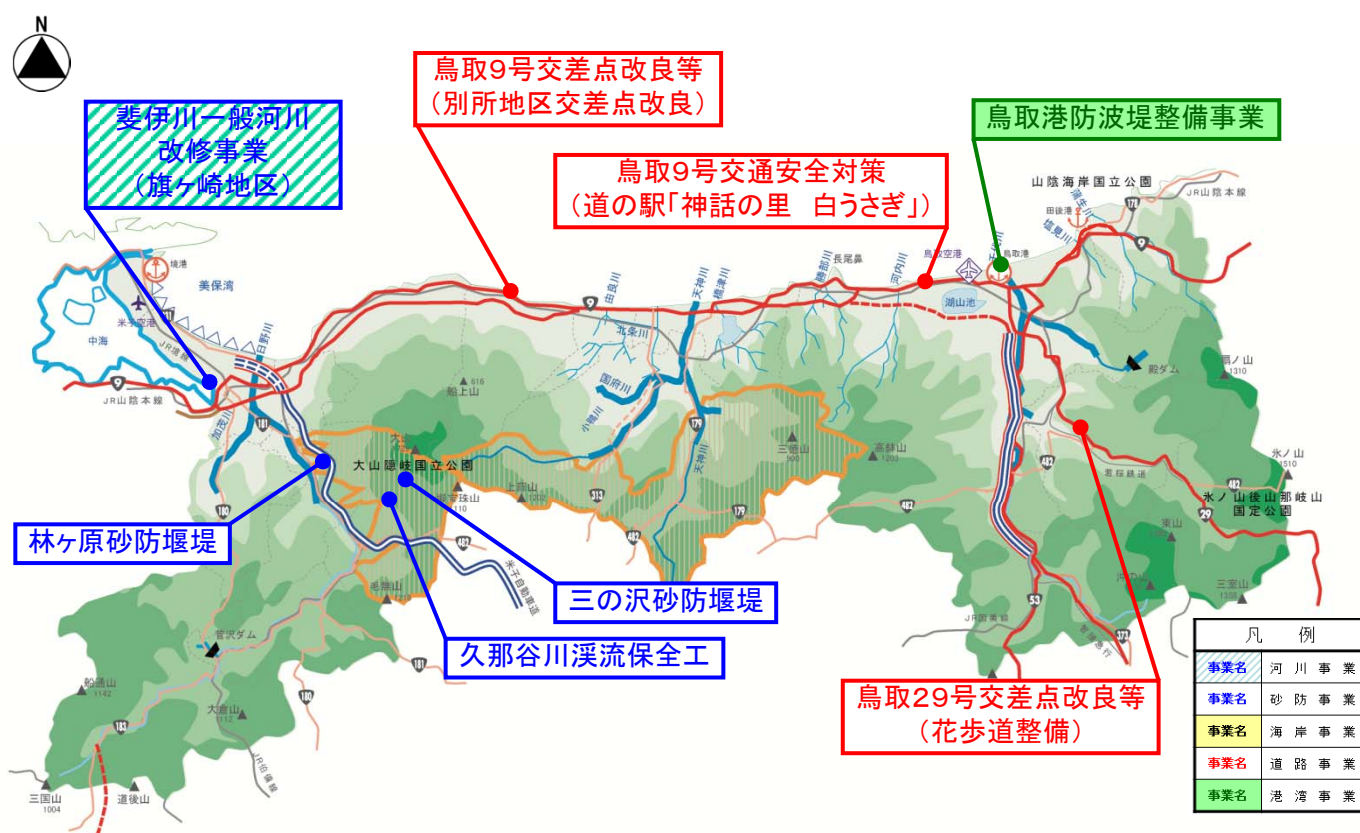
平成27年度 中国地方整備局（鳥取県内） 予算総括表

（単位：百万円）

事業部門		平成27年度 事業費							平成26年度 事業費	伸率 (a/b)
		鳥取	倉吉	日野川	境	出雲	三次	計(a)	計(b)	
河川事業	改修	260	312	325		3,756		4,653	5,044	0.922
	環境整備	0	0	0		513		513	608	0.844
	応急対策	167	43	0		88		298	180	1.656
	小計	427	355	325	0	4,357	0	5,464	5,832	0.937
砂防事業	砂防		432	510				942	947	0.995
	小計	0	432	510	0	0	0	942	947	0.995
海岸事業	海岸			614				614	561	1.094
	小計	0	0	614	0	0	0	614	561	1.094
道路事業	改築	22,184	720				240	23,144	20,712	1.117
	交通安全	573	1,476					2,049	1,347	1.521
	電線共同溝	0	0					0	0	—
	小計	22,757	2,196	0	0	0	240	25,193	22,059	1.142
港湾事業	鳥取港				325			325	190	1.711
	境港				620			620	1,590	0.390
	小計	0	0	0	945	0	0	945	1,780	0.531
総計(事務所計)		23,184	2,983	1,449	945	4,357	240	33,158	31,179	1.063
(注意) (1) 計数はそれぞれ四捨五入しているため端数において合計とは一致しないものがある。 (2) 境港湾・空港整備事務所は鳥取県関連分のみである。 (3) 出雲河川事務所分については、島根県・鳥取県を含む。 (4) 事業費には、調査費、業務取扱費・災害復旧費を含まない。 (5) 上記予算の他に、地方整備局一括配分として、河川維持修繕費、堰堤維持費、総合流域防災対策事業費、交安Ⅱ種、維持管理費等がある。										

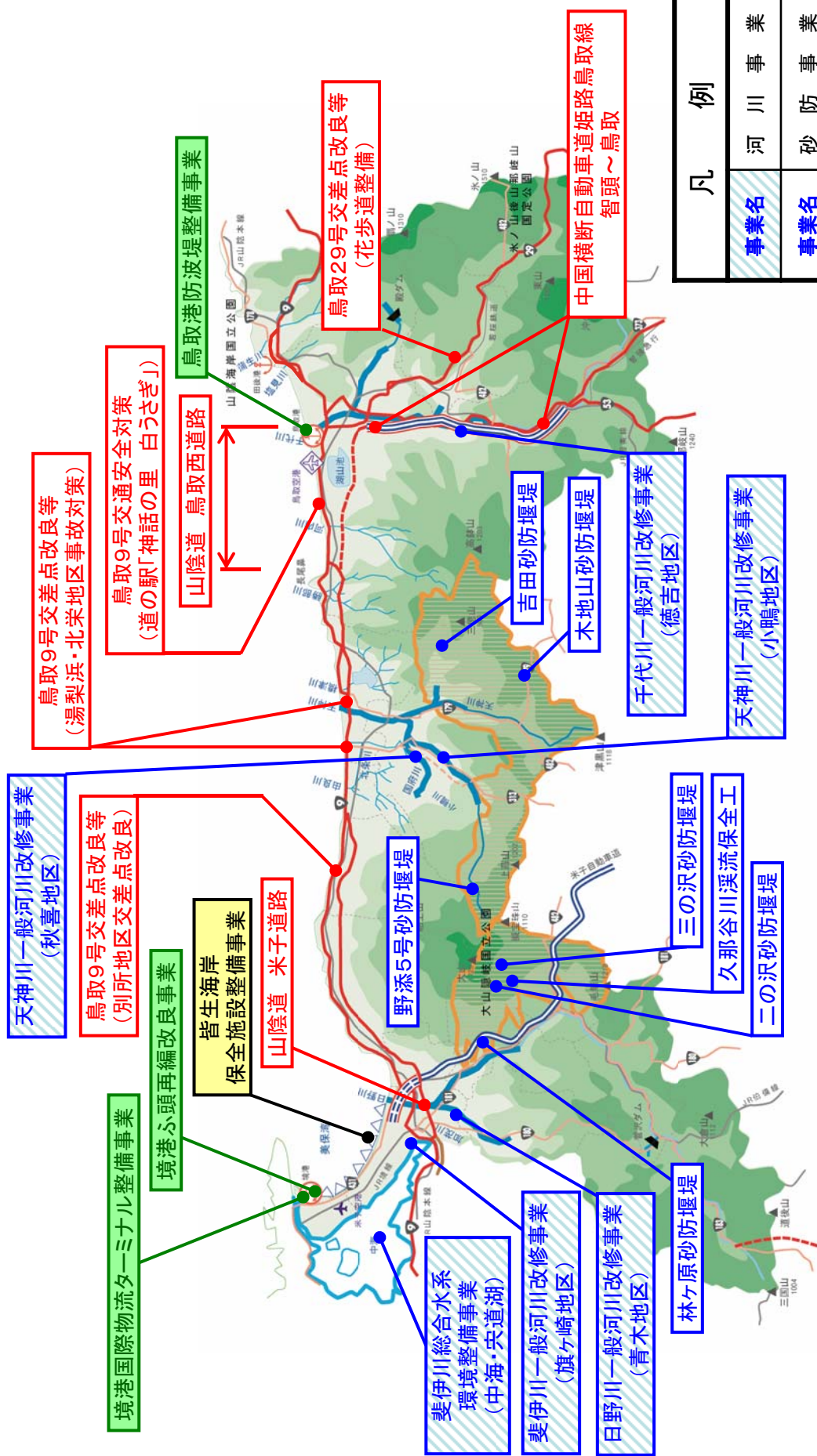
平成27年度 主な完成予定事業箇所（鳥取県内）

<位置図>



番号	事業名	事業分類	担当事務所	完成予定年度	資料編
河-5	斐伊川一般河川改修事業（旗ヶ崎地区）	河川	出雲河川事務所	H27完成予定	P15
砂-4	三の沢砂防堰堤	砂防	日野川河川事務所	H27完成予定	P21
	林ヶ原砂防堰堤	砂防	日野川河川事務所		
	久那谷川溪流保全工	砂防	日野川河川事務所		
道-5	鳥取9号交差点改良等（別所地区交差点改良）	道路	倉吉河川国道事務所	H27完成予定	P27
道-6	鳥取29号交差点改良等（花歩道整備）	道路	鳥取河川国道事務所	H27完成予定	P28
道-7	鳥取9号交通安全対策（道の駅「神話の里 白うさぎ」）	道路	鳥取河川国道事務所	H27完成予定	P29
港-1	鳥取港防波堤整備事業	港湾	境港湾・空港整備事務所	H27完成予定	P31

主要事業箇所（鳥取県内）



凡 例	
事業名	河 川 事 業
事業名	砂 防 事 業
事業名	海 岸 事 業
事業名	道 路 事 業
事業名	港 湾 事 業

平成27年度 中国地方整備局(鳥取県内) 事業の概要

1. 河川事業

(1) 改修

1) 千代川一般河川改修事業(徳吉地区) 【資料編 河－1(鳥取)】

鳥取市徳吉地区では、固定堰による洪水時の水位のせき上げや堆積土砂による河川断面不足が生じている状況です。

平成27年度は、佐貫地区の徳吉頭首工の改修、河川内に堆積した土砂の撤去並びに高水敷保護工を実施します。

2) 天神川一般河川改修事業(小鴨地区) 【資料編 河－2(倉吉)】

天神川支川小鴨川の中流部の当箇所は、河道の断面不足により流下能力が不足しており、また急流河川であるため、堤防の浸食の危険性が高く、流下能力の確保及び堤防の侵食対策が必要となっています。

平成27年度は、河道掘削及び侵食対策のための護岸工を推進します。

3) 天神川一般河川改修事業(秋喜地区) 【資料編 河－3(倉吉)】

倉吉市秋喜地区は、西倉吉工業地域をはじめとした資産・人口の集中する地域を背後地としていることから、堤防決壊に対する安全度確保の観点から浸食対策が必要となっています。

平成27年度は、侵食対策である護岸工を推進します。

4) 日野川一般河川改修事業(青木地区) 【資料編 河－4(日野川)】

日野川支川法勝寺川の流下能力を確保し、米子市街地を浸水被害から守るため、平成23年度より米子市青木地区の改修工事に着手しており、27年度は堰の改築工事を実施します。

5) 斐伊川一般河川改修事業(旗ヶ崎地区) 【資料編 河－5(出雲)】

中海において、近年高潮で浸水被害を受けている米子市旗ヶ崎地区において水門等の整備を実施します。

(2) 環境整備

1) 斐伊川総合水系環境整備事業(中海・宍道湖) 【資料編 河－6(出雲)】

中海の水環境の改善を目指し、米子湾において覆砂を実施します。

(3) 応急対策

1) 千代川河川工作物関連応急対策事業

【資料編 河－7(鳥取)】

千代川直轄管理区間において、老朽化が著しい河川管理施設の改良を行います。
樋門の操作方式が手動式で、緊急時に確実な操作が行えないため、開閉装置の無動力化並びに電動化に改良します。

2. 砂防事業

(1) 大山山系直轄火山砂防事業(天神川水系)

1) 吉田砂防堰堤

【資料編 砂－1(倉吉)】

吉田砂防堰堤は、三徳川下流域を土砂流出に伴う洪水氾濫から保全するための基幹施設として、小鹿川の支川天谷川に計画した砂防堰堤 (H=12.5m, L=81.5m) です。
平成27年度は、付替道路を推進します。

2) 野添5号砂防堰堤

【資料編 砂－2(倉吉)】

野添5号砂防堰堤は、下流域を土砂流出に伴う洪水氾濫から保全するための基幹施設として、小鴨川の支川泉谷川に計画した砂防堰堤 (H=14.5m, L=74.0m) です。
平成27年度は、鋼製堰堤工を実施します。

3) 木地山砂防堰堤

【資料編 砂－3(倉吉)】

木地山砂防堰堤は、下流域を土砂流出に伴う洪水氾濫から保全するための基幹施設として、天神川の支川能谷川に計画した砂防堰堤 (H=11.5m, L=61.0m) です。
平成27年度は、用地買収を継続するとともに付替道路に着手します。

(2) 大山山系直轄火山砂防事業(日野川水系)

【資料編 砂－4(日野川)】

解体期にある大山及び各溪流から流出する土砂による災害から地域住民の生命と財産を守るため、引き続き整備率の向上を図ります。

1) 三の沢砂防堰堤

江府町大河原地内の小江尾川（こえびがわ）において、堰堤本体工事を促進し、平成27年度の完成を目指します。

2) 林ヶ原(はやしがはら)砂防堰堤

伯耆町林ヶ原地内の清山川（せいやまがわ）において、堰堤本体工事を促進し、平成27年度の完成を目指します。

3) 二の沢砂防堰堤

江府町日光地内の白水川（しらみがわ）において、堰堤本体工事に必要な用地買収や工事用道路等の整備を促進します。

4) 久那谷川(くなたにがわ)溪流保全工

江府町吉原地内の久那谷川において、溪流保全工に着手し平成27年度の完成を目指します。

3. 海岸事業

1) 皆生海岸保全施設整備事業

【資料編 海-1(日野川)】

両三柳工区において、侵食対策として沖合施設(離岸堤)整備を実施するとともに、富益工区においてサンドリサイクル(砂の循環)による保全対策を促進します。

4. 道路事業

(1) 改築(山陰道)

1) 山陰道鳥取西道路(延長19.3km:部分開通済)

【資料編 道-1(鳥取)】

山陰道鳥取西道路は、災害時等の代替路線の確保、鳥取市内の交通混雑緩和を目的としており、鳥取西ICから青谷IC間の事業を実施中です。

平成27年度は、吉岡温泉ICから青谷IC間の平成29年度開通を目指し、埋蔵文化財調査、改良工事、トンネル工事、橋梁工事等を推進します。

(2) 改築(付加車線)

1) 中国横断自動車道姫路鳥取線 智頭～鳥取

【資料編 道-2(鳥取)】

中国横断自動車道姫路鳥取線は、トンネルの連続やインターチェンジ部の合流などにより速度低下が発生しており、走行性や安全性の向上を図るため、付加車線を設置しています。

平成27年度は、改良工事、橋梁下部工事及びトンネル工事を推進します。

2) 山陰道 米子道路

【資料編 道-3(倉吉)】

山陰道米子道路では、渋滞区間及びインターチェンジ部の合流により、速度低下が発生しており、走行性や安全性の向上を図るため、日野川東IC～米子南IC間に付加車線を設置します。

平成27年度は、調査・設計、橋梁工事等を推進します。

(3) 交通安全

1) 鳥取9号交差点改良等(湯梨浜・北栄地区事故対策)

【資料編 道-4(倉吉)】

本事業は、事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)の対象区間である信号交差点が連続する2区間において、交差点立体化による事故対策を行い、事故削減を図るものです。

平成27年度は、調査・設計、改良工事等を推進します。

2) 鳥取9号交差点改良等(別所地区交差点改良) 【資料編 道－5(倉吉)】

当該箇所は、山陰道の琴浦PAと国道9号の道の駅「ポート赤碕」を結ぶ町道別所中線と国道9号が交わる交差点です。現在、国道9号に右折車線が無く、右折待ち車両による交通障害が発生していることから、右折車線設置等により交通安全の向上を図るものです。

平成27年度は、工事を推進し、完成を目指します。

3) 鳥取29号交差点改良等(花歩道整備) 【資料編 道－6(鳥取)】

当該箇所は、歩道の幅が1m程度の箇所や歩道が無い箇所があり、歩行者と走行車両が近接して通行する危険な箇所であるため、事故ゼロプラン（事故危険区間重点解消作戦）の対象区間として、安全・安心な歩行空間の確保を図るものです。

平成27年度は工事を推進し、完成を目指します。

4) 道の駅「神話の里 白うさぎ」 【資料編 道－7(鳥取)】

道の駅「神話の里 白うさぎ」は、歴史・自然などの共通テーマを通じ、周辺観光施設及び他の「道の駅」との連携拠点となる優れた提案があり、今後の重点支援で効果的な取組が期待できるものとして、重点「道の駅」に選定されています。

平成27年度は区画線や標識等により、場内誘導の改善を行います。

(4) 更新防災(修繕)

1) 橋梁の老朽化対策 【資料編 道－8(鳥取)】

定期点検の結果、修繕が必要と判断された橋梁について、修繕工事を実施することで、安全・安心で信頼性の高いネットワークの確保を図ります。

鳥取県内では、国道29号 魚止橋（八頭郡若桜町地内）他の橋梁について、修繕工事を実施します。

5. 港湾事業

(1) 鳥取港改修事業

1) 鳥取港防波堤整備事業 【資料編 港－1(境)】

鳥取港における既存の港口付近での波のじょう乱による船舶の安全な航行への影響に対応して、西浜航路を新設するとともに、必要となる港内の静穏度を確保するため、防波堤（第1）の西側への延伸を実施しています。

平成26年度までに防波堤延伸総延長 300m の全てのケーソン据付が完了しており、平成27年度は消波ブロックの製作・据付等を実施します。

(2) 境港改修事業

1) 境港ふ頭再編改良事業

【資料編 港－2(境)】

山陰地方には国内海上輸送網にミッシングリンクがあり、境港周辺の企業は非効率な輸送を強いられており、さらに境港に定期就航している航路が利用している岸壁は非耐震であり、大規模地震発生時の物流機能確保並びに離島航路等の継続的な就航を可能とするため、竹内南地区に新たな内貿 RORO 船に対応したターミナルを整備・耐震化することで、境港のふ頭再編を行い、物流機能の効率化、山陰地方の産業競争力強化を図ります。

平成 27 年度は岸壁（水深 10m）の整備に必要な調査、設計等を実施します。

2) 境港国際物流ターミナル整備事業

【資料編 港－3(境)】

境港における大型貨物船に対応した岸壁、ふ頭用地の恒常的な不足を解消するとともに、併せてふ頭の再編を行うことで在来貨物及び、将来増加する貨物需要（リサイクル貨物、企業の利用拡大等）も含めた効率的な利用を図るため、外港中野地区において、水深 12m の国際物流ターミナルの整備を実施しています。

平成 26 年度までに岸壁本体工ケーソンの据付を実施しています。平成 27 年度は岸壁の裏込・裏埋工、上部工等を実施します。

主要事業箇所別事業費(中国地方整備局(鳥取県内))

事業名	事業費(百万円)		伸率 (H27/H26)	備考
	平成27年度 (当初)	平成26年度 (当初)		
【河川事業】				
千代川一般河川改修事業	260	342	0.760	千代川水系全体
天神川一般河川改修事業	312	445	0.701	天神川水系全体
日野川一般河川改修事業	325	250	1.300	日野川水系全体
斐伊川一般河川改修事業	3,756	4,007	0.937	斐伊川水系全体
斐伊川総合水系環境整備事業	513.3	600	0.856	斐伊川水系全体
千代川河川工作物関連応急対策事業	167	135	1.237	千代川水系全体
【砂防事業】				
大山山系(天神川水系)砂防事業	432	431.5	1.001	天神川水系全体
大山山系(日野川水系)直轄火山砂防事業	510	515	0.990	日野川水系全体
【海岸事業】				
皆生海岸保全施設整備事業	614	561	1.094	
【道路事業】				
山陰道 鳥取西道路	18,642	17,800	1.047	
中国横断自動車道姫路鳥取線 智頭～鳥取	3,542	1,967	1.801	
山陰道 米子道路	720	580	1.241	
鳥取9号交差点改良等(湯梨浜・北栄地区事故対策)	1,200	501	2.395	
鳥取9号交差点改良等(別所地区交差点改良)	204	48	4.250	
鳥取29号交差点改良等(花歩道整備)	39	48	0.813	
道の駅「神話の里 白うさぎ」	8	-	-	
【港湾事業】				
鳥取港改修事業	325	190	1.711	
境港改修事業	620	1,590	0.390	

<資料編>

主要事業箇所の概要 中国地方整備局（鳥取県内）

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

千代川の河川整備は、戦後最大規模(S54.10)の洪水を安全に流すことを目標として整備を進めています。当該地区では、固定堰による洪水時の水位のせき上げや堆積土砂による河川断面不足が生じている状況です。

平成27年度は、洪水に対する安全度を向上させるため佐貫地区の徳吉頭首工の改修、河道掘削並びに高水敷保護工を実施します。

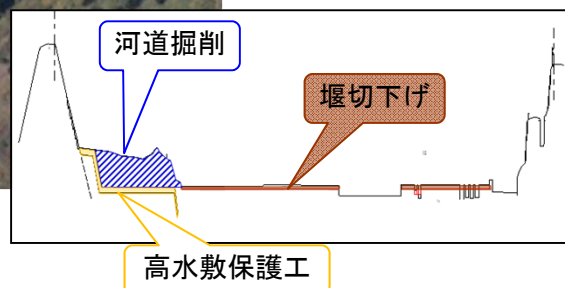
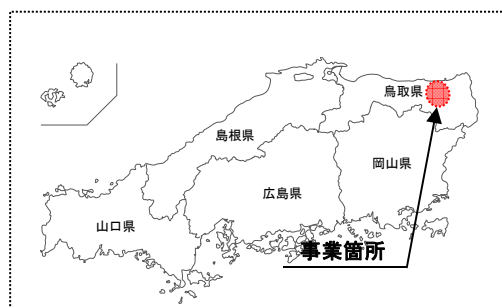
2. 事業箇所

鳥取県鳥取市河原町徳吉地区

3. 平成27年度 予定事業内容

堰改修N=1基、河道掘削V=15,000m³

高水敷保護工A=10,000m²



4. 期待される整備効果

河川整備計画の治水目標である、戦後最大の昭和54年10月洪水と同規模の洪水が発生した場合においても、浸水被害の防止が図られます。

てんじんがわ
天神川一般河川改修事業
おがも
(小鴨地区)

事業費312百万円
※天神川水系全体

河-2(倉吉)

事業推進

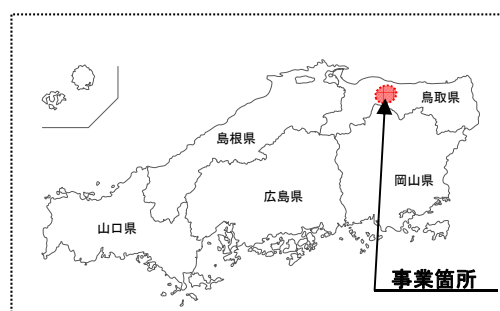
1. 事業の必要性及び概要

天神川支川小鴨川の中流部は、樹木繁茂や土砂堆積による河道の断面不足により、流下能力不足を生じており、洪水による氾濫により、西倉吉工場団地を始めとして多くの資産や家屋が浸水する恐れがあります。また、急流河川であるがゆえ、洪水時の流速が早く、堤防の浸食の危険性が高く、侵食対策が必要となっています。

このため、河道掘削、護岸等を実施し、早期に安全性の向上を図ります。

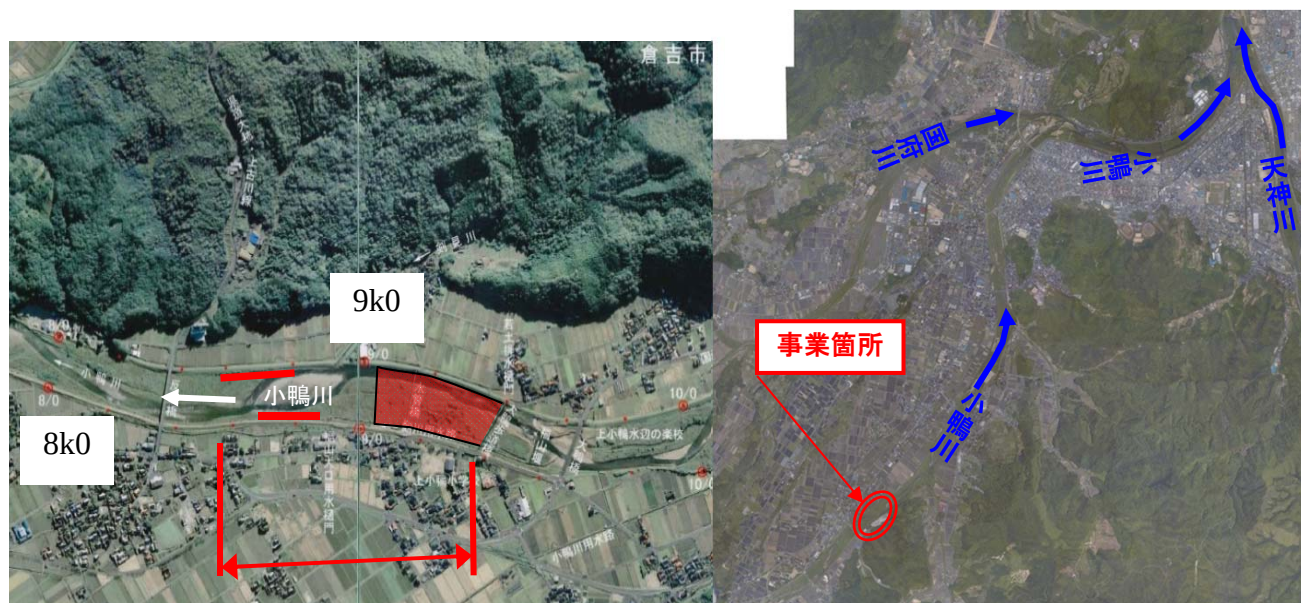
2. 事業箇所

おがも
鳥取県倉吉市小鴨地区



3. 平成27年度予定事業内容

天神川支川小鴨川の小鴨地区において、流下能力対策及び侵食対策を実施します。



4. 期待される整備効果

河岸侵食防止対策を実施することで、堤防決壊等の重大な災害を防止し、洪水のはん濫による浸水被害の防止・軽減が図られます。

日野川一般河川改修事業

よなご あおき
(米子市青木地区)

事業費325百万円

※日野川水系全体

河-4(日野川)

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

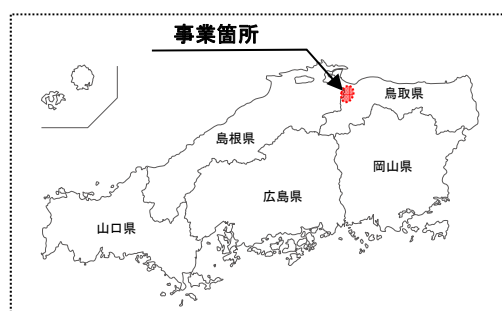
日野川支川法勝寺川は全川にわたって流下能力が低く、下流部の破堤時には米子市街地(鳥取県内人口第2位)に甚大な被害が想定されます。

また、支川小松谷川合流部では法勝寺川の影響等による内水被害が過去10年の内に4回発生しており、流下能力向上および内水被害軽減のための緊急的な対策が必要です。

このため、流下能力確保を図るための河道掘削、背割堤の整備等を実施します。

2. 事業箇所

鳥取県米子市青木地区



3. 平成27年度 予定事業内容

法勝寺川青木地区の支川小松谷川の堰改築等を実施します。



排水ポンプ車による排水状況 (H23.9)



浸水状況 (H23.9)

4. 期待される整備効果

昭和34年9月の戦後最大洪水が再び発生した場合においても、米子市街地への浸水被害の防止を図るとともに、青木地区における内水被害の軽減が図られます。

ひいかわ 斐伊川一般河川改修事業

はたがさき
(旗ヶ崎地区)

河-5(出雲)

事業費3,756百万円(※斐伊川水系全体) 【鳥取県】

1. 事業の必要性及び概要

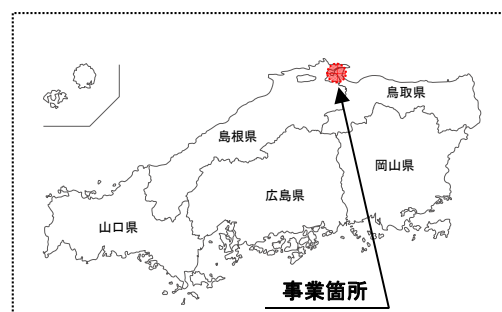
完成予定

旗ヶ崎地区は、宅地の地盤高が低く中海の湖岸堤が未整備で、近年高潮による浸水被害(平成14年、平成15年、平成16年)を頻繁に受け、河川整備計画においても短期整備箇所として位置づけられており、早期の湖岸堤整備が必要です。

このため、高潮による浸水被害の防止を図るための堤防整備を実施し、早期に安全性の向上を図ります。

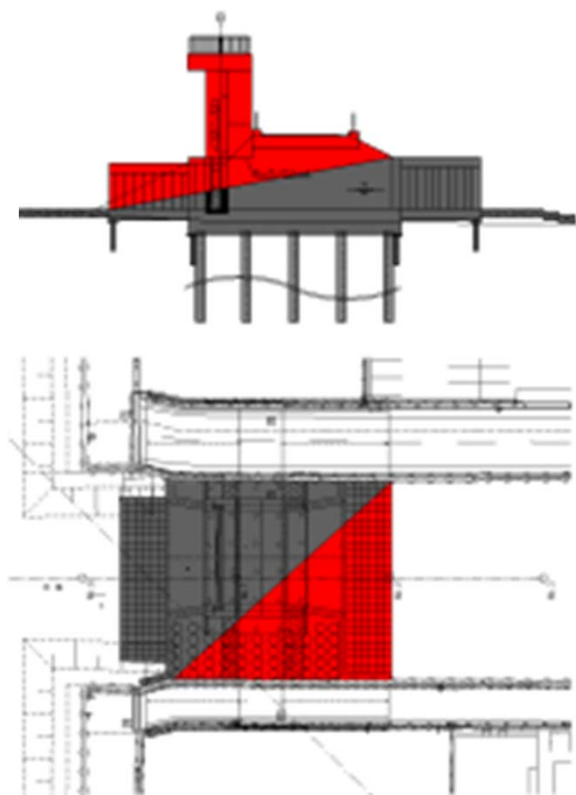
2. 事業箇所

鳥取県米子市旗ヶ崎地区



3. 平成27年度 予定事業内容

中海旗ヶ崎地区において、水門等の整備を実施します。



4. 期待される整備効果

河川整備計画の目標である平成15年9月高潮(既往最高水位)が再び発生した場合においても、家屋の浸水被害の防止が図られます。

ひいかわ 斐伊川総合水系環境整備事業

なかうみ しんじこ
(中海・宍道湖)

河-6(出雲)

事業費513.3百万円(※斐伊川水系全体) 【鳥取県・島根県】

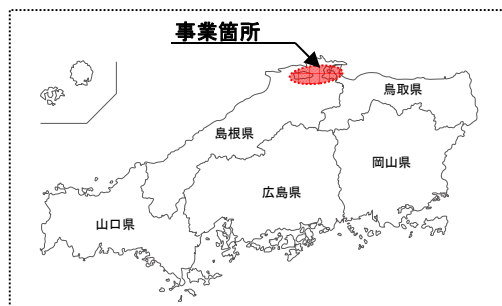
事業推進

1. 事業の必要性及び概要

斐伊川水系斐伊川の中海・宍道湖では、水質観測が始まった昭和48年頃から、環境基準値を満足していない状態が続いており、赤潮・アオコといった富栄養化現象が継続的に発生しています。また、湖周辺地域の開発等による流入負荷の増加に加え、浅場・藻場が減少し、湖の自然浄化機能が低下しています。そこで、沿岸域に浅場を整備するとともに、中海の底質が悪い箇所には覆砂を実施して、生物の生息環境を改善することにより、湖の自然浄化機能を向上させ、水質浄化を図ります。

2. 事業箇所

鳥取県米子市錦海町～島根県松江市浜佐田町地区



3. 平成27年度 予定事業内容

中海：浅場造成 A=10千m²、覆砂 A=140千m²

宍道湖：浅場造成 A=10千m²



4. 期待される整備効果

浅場造成・覆砂により、生物の生息環境が改善され、自然が本来もつ浄化機能を回復して湖内の水質浄化を図ります。

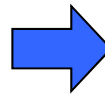
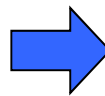
アオコや赤潮の発生が抑制され、湖岸の景観も向上します。

事業推進

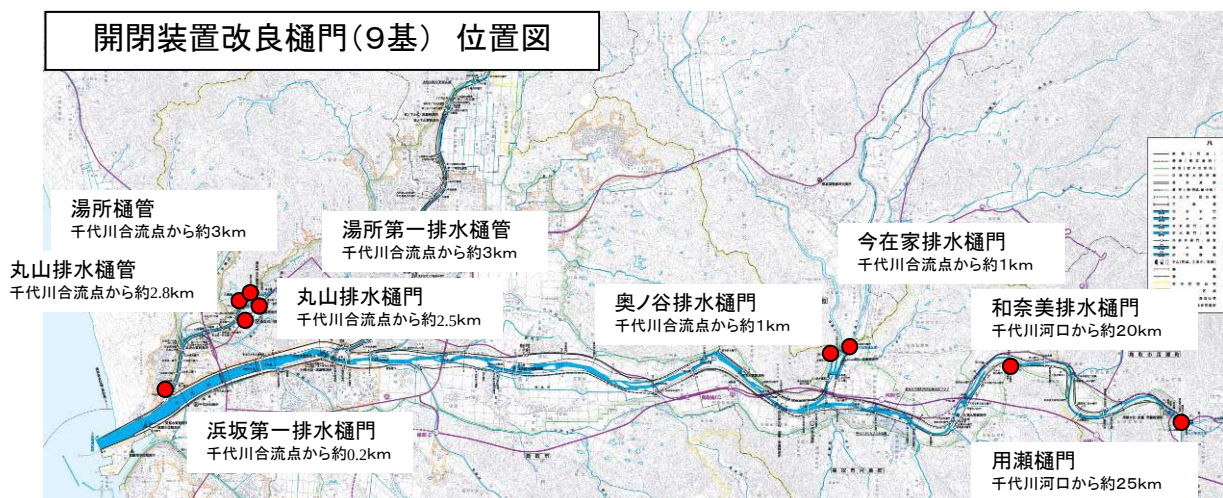
■老朽化が著しい河川管理施設の改良措置

施設の改良

○樋門の操作が手動式の開閉装置で行うため、操作時に多大な労力を必要とする設備です。近年、操作員の高齢化が問題となっているため、緊急時に確実な操作を行うために開閉装置の無動力化並びに電動化に改良します。



開閉装置改良樋門(9基) 位置図



期待される整備効果

河川管理施設の施設性能を改善します。

事業費432百万円（※天神川水系全体）

大山山系直轄火山砂防事業（天神川水系）

砂-2（倉吉）

くらよし のぞえ
（倉吉市野添地区）

事業費432百万円（※天神川水系全体）

事業推進

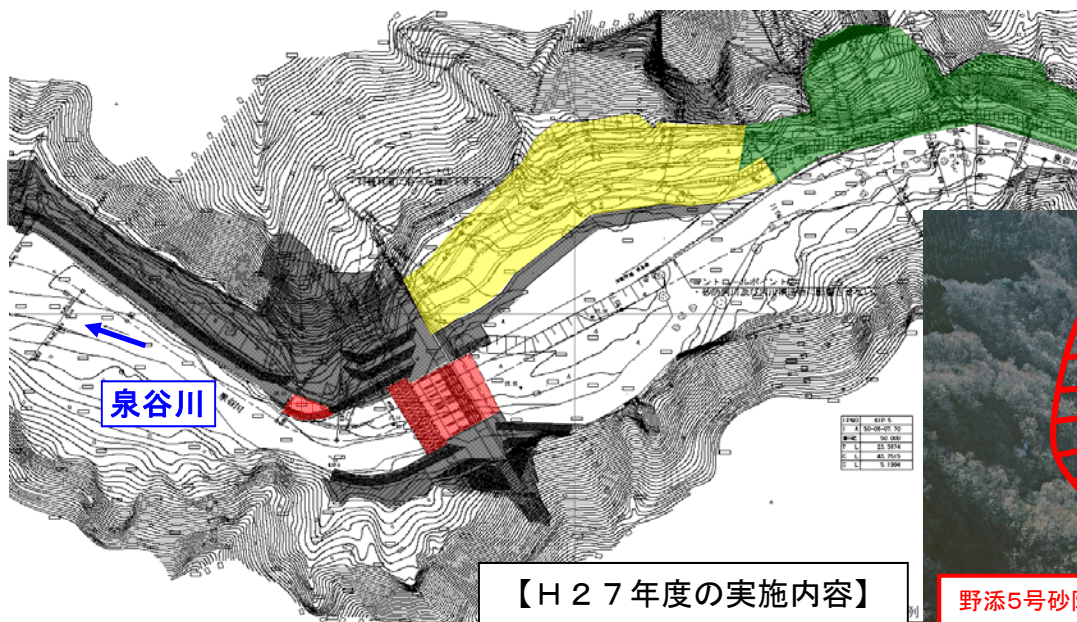
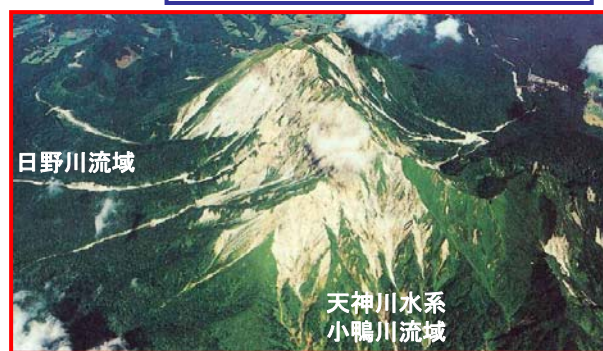
【事業概要】

野添5号砂防堰堤は、下流域を土砂流出に伴う洪水氾濫から保全するための基幹施設として、小鴨川の支川泉谷川に計画した砂防堰堤（H=14.5m、L=74.0m）です。

泉谷川は、土砂生産が盛んな大山の重荒廃地域であるため、優先的に整備を進めており、平成21年度から事業に着手しています。

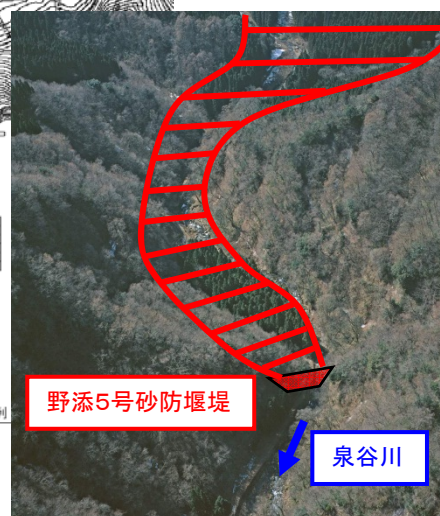
平成27年度は**鋼製堰堤工を実施**します。

荒廃の著しい大山源頭部の状況



【H27年度の実施内容】

鋼製堰堤工



期待される整備効果

泉谷川からの土砂流出を防ぐとともに、直下流の野添地区をはじめ、下流域を土砂流出に伴う洪水氾濫から保全します。

大山山系直轄火山砂防事業（天神川水系）

砂-3(倉吉)

みさき きじやま
(三朝町木地山地区)

事業費432百万円（※天神川水系全体）

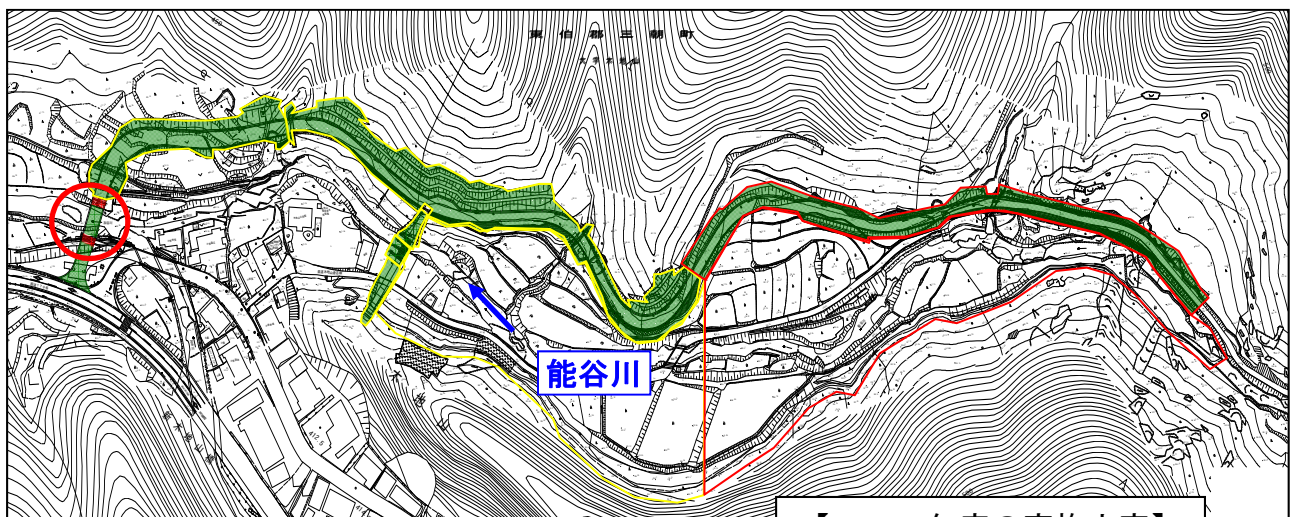
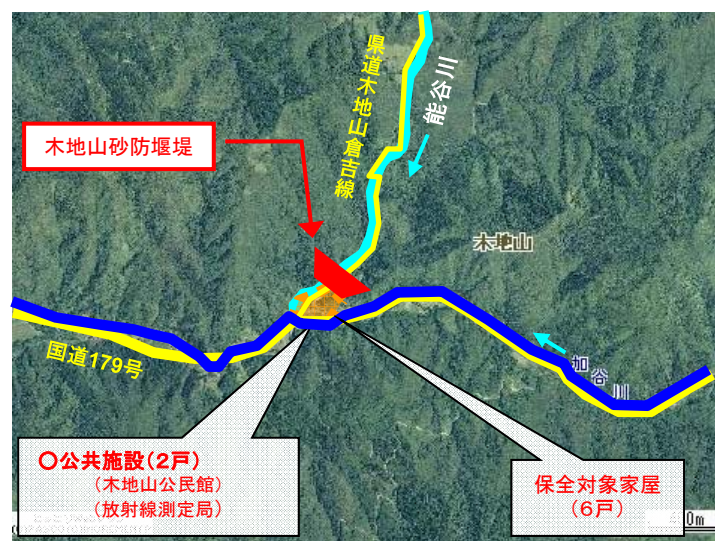
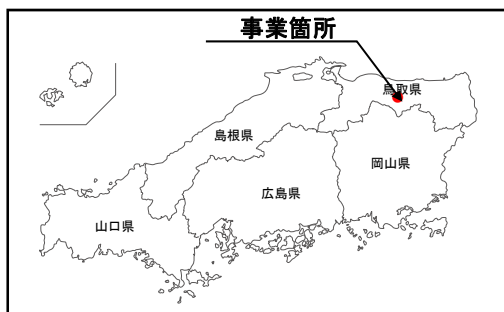
事業推進

【事業概要】

木地山砂防堰堤は、下流域を土砂流出に伴う洪水氾濫から保全するための基幹施設として、天神川の支川能谷川に計画した砂防堰堤(H=11.5m,L=61.0m)です。

当流域の下流地域では、平成10年台風10号により大規模な土砂災害が発生しており、下流地域における再度災害を防止するために平成26年度より事業に着手しています。

平成27年度は用地買収を継続するとともに付替道路に着手します。



【H27年度の実施内容】

期待される整備効果

用地買収、付替道路

能谷川からの土砂流出を防ぐとともに、直下流の木地山地区をはじめ、下流域を土砂流出に伴う洪水氾濫から保全します。

大山山系直轄火山砂防事業 (日野川水系)

事業費510百万円
※日野川水系全体

砂-4(日野川)

1. 事業の必要性及び概要

事業推進

大山山系は火山岩等の脆弱な地質が分布し、荒廃が激しく、山麓斜面には浸食されやすい火山堆積物や風化した安山岩が厚く堆積しており、土砂流出による災害発生の危険性が高いため、下流域を土砂流出に伴う洪水氾濫から保全するとともに、再度災害防止を目的として砂防堰堤等の整備を実施しています。

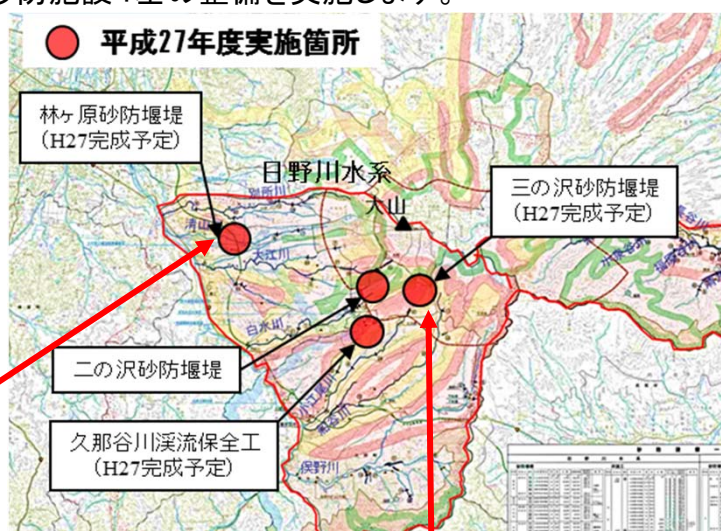
2. 事業箇所

大山山系(日野川)：鳥取県伯耆町、江府町



3. 平成27年度 予定事業内容

日野川水系において砂防施設4基の整備を実施します。



林ヶ原砂防堰堤
(H27完成予定)

林ヶ原砂防堰堤において土砂災害の軽減及び日野川への土砂流出の抑制を目的として、堰堤本体工事を促進します。



三の沢砂防堰堤
(H27完成予定)

三の沢砂防堰堤において、土砂災害の軽減及び日野川への土砂流出の抑制を目的として、堰堤本体工事を促進します。

4. 期待される整備効果

砂防施設の整備により、米子市街において、土砂を起因とする洪水はん濫の防止・軽減を図ります。

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

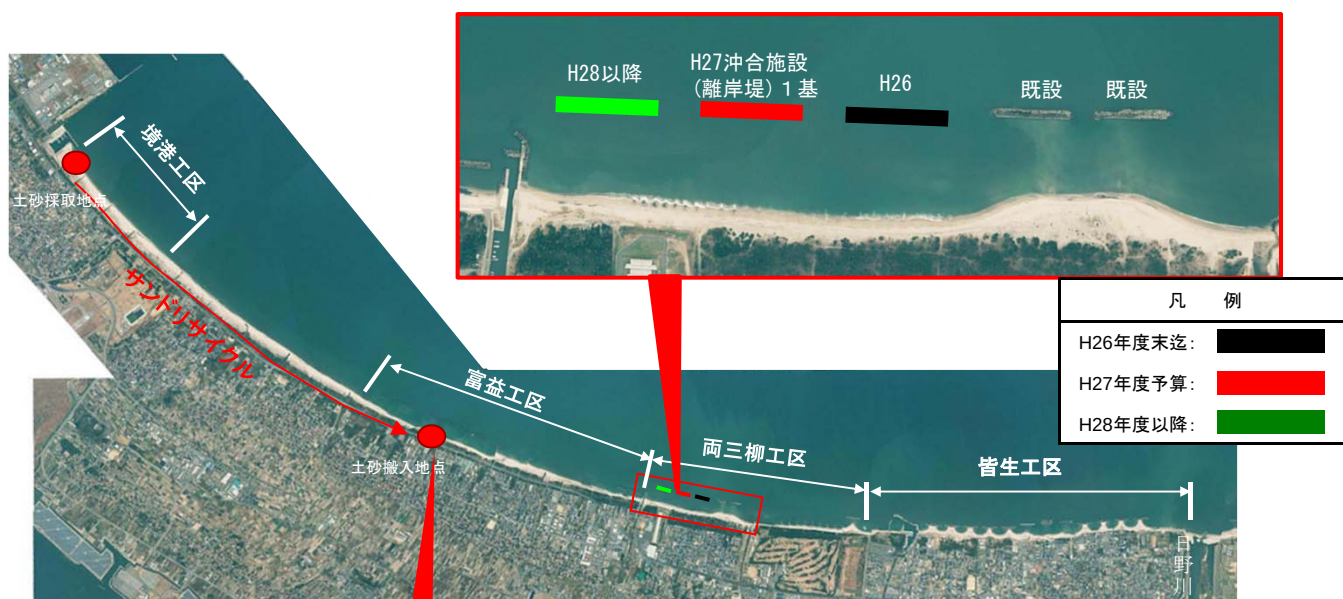
皆生海岸は、「かな流し」の衰退等に伴い日野川からの流出土砂が減少したことから著しい侵食が生じています。背後には皆生温泉や住宅密集地があり、国道431号線沿いには住家や商業店舗が多数進出し人口も集中していることから、砂浜を保全するために沖合施設の設置や養浜を実施しています。

2. 事業箇所

鳥取県米子市～境港市

3. 平成27年度 予定事業内容

皆生海岸の侵食対策として、両三柳地区において沖合施設(離岸堤)1基を設置します。また、富益地区において砂浜を保全するサンドリサイクルを実施します。



サンドリサイクル施工前



サンドリサイクル施工後



4. 期待される整備効果

海岸侵食による被害を防止するとともに、利用者が安心して快適に利用できる自然豊かな砂浜を保全します。

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

山陰道 鳥取西道路は、災害時の代替路の確保、鳥取市内の交通混雑緩和を目的とした、鳥取市本高から同市青谷町青谷に至る延長19.3kmの自動車専用道路です。

2. 事業箇所

とっとり もとだか あお や ちよう あお や

鳥取県鳥取市本高～鳥取市青谷町青谷

3. 平成27年度 予定事業内容

とっとり にし あおや よしおか おんせん
鳥取西IC～青谷IC間の事業を実施中であり、吉岡温泉IC
～青谷IC間の平成29年度の開通を目指し、埋蔵文化財調
査、改良工事、トンネル工事、橋梁工事等を推進します。



※用地取得が速やかに完了し、鳥取県による埋蔵文化財調査が平成27年度迄に完了する場合



写真① 福井地区
(橋を造っています)



写真② 青谷IC付近
(米子方面を望む)

4. 期待される整備効果

■企業立地の促進・雇用創出の促進

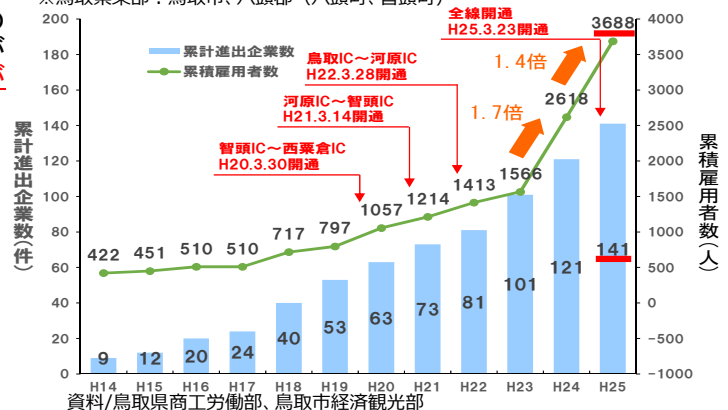
・鳥取自動車道の開通により鳥取県東部の企業進出が増加し、新たな雇用が生まれています。鳥取西道路の開通により鳥取県中部地域にも自専道ネットワークがつながることで企業活動を中心とした**地域の活性化が期待**されます。



鳥取ICに近接する東郷工業団地(H26.10月撮影)

【鳥取自動車道開通に伴う鳥取県東部の企業進出状況（H14以降累積）】

※鳥取県東部：鳥取市、八頭郡（八頭町、智頭町）



1. 事業の必要性及び概要

事業推進

中国横断自動車道姫路鳥取線では、トンネルの連続やインターチェンジ部の合流により、走行速度が低下しており、走行阻害箇所の走行性や安全性の向上を図るため、付加車線を設置します。

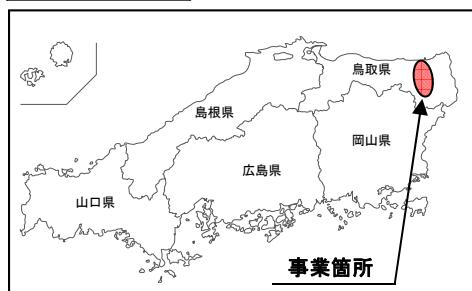
2. 事業箇所

鳥取県八頭郡智頭町市瀬～鳥取市本高(智頭IC～鳥取IC)

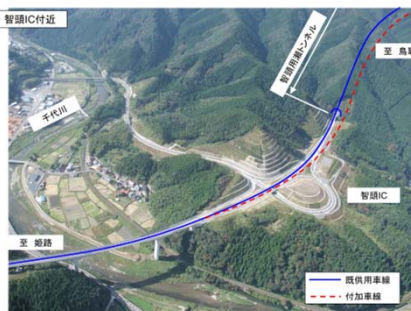
3. 平成27年度 予定事業内容

平成27年度は、智頭IC～鳥取IC間の道路改良、橋梁下部及びトンネル工事を推進します。

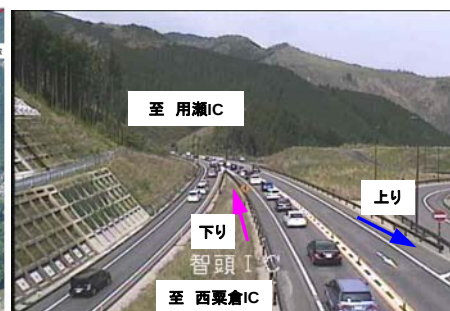
位置図



現況写真



写真① 智頭IC付近



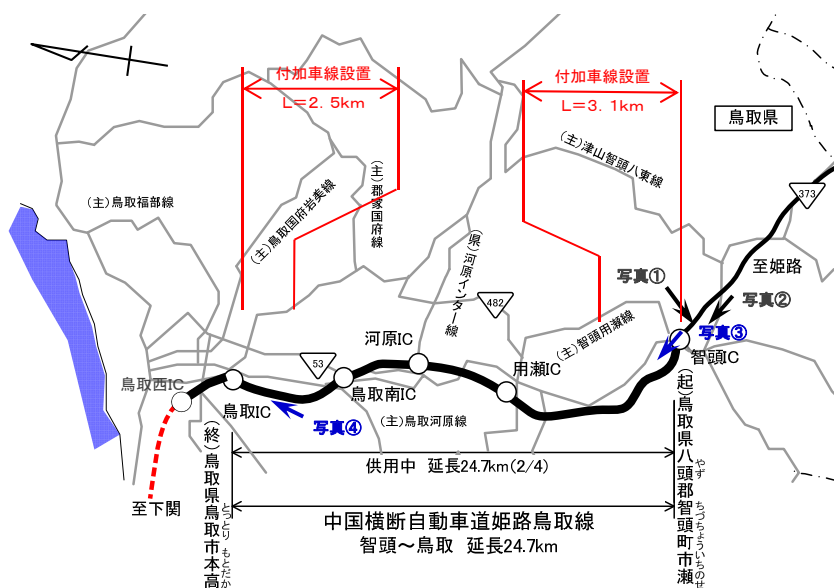
写真② H25.5.4智頭IC下り線ONランプ

工事状況写真

写真③ 施工状況(市瀬地区)



写真④ 施工状況(下味野地区)



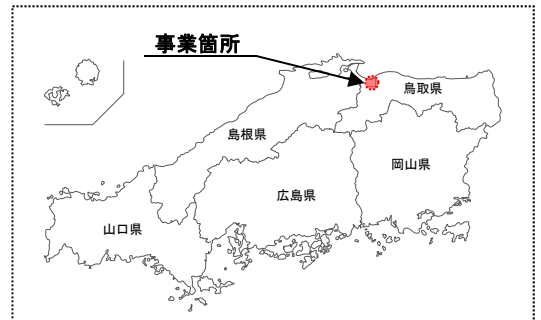
1. 事業の必要性及び概要

事業推進

- ・山陰道 米子道路は、西伯郡大山町及び米子市内の交通渋滞の緩和及び交通安全の確保を目的とした延長14.2kmの自動車専用道路です。
- ・山陰道 米子道路では、渋滞区間及びインターチェンジ部の合流により、走行速度が低下しており、交通阻害箇所の走行性、安全性の向上を図るため、付加車線を設置します。

2. 事業箇所

鳥取県西伯郡大山町安原～米子市陰田町
日野川東IC～米子南IC(付加車線整備区間)



3. 平成27年度 予定事業内容

橋梁工事等を推進し、付加車線の早期完成を目指します。



4. 期待される整備効果

- ・鳥取県中部から島根県東部の自専道ネットワークの整備や尾道松江線の開通により、島根県東部と鳥取県の観光ツアーが大幅に増加しています。
- ・米子道路付加車線の整備により観光シーズンなどで発生している渋滞が緩和され、山陰道の高速性・定時性が増し、広域周遊観光の多様性・広域化による観光産業の活性化が期待されます。

【首都圏発の島根県東部と同一ツアー内で周遊する地域とのツアー件数】



写真① 日野川東IC付近の渋滞状況



写真② 米子南IC付近の渋滞状況



鳥取9号交差点改良等

(湯梨浜・北栄地区事故対策)

道-4(倉吉)

事業費1,200百万円

1. 事業の必要性及び概要

当該箇所を含む国道9号の湯梨浜から北栄間は、一般道の長い直線が続く区間であるため、スピード超過しやすい区間となっており、東方面、西方面いずれの交通も、長瀬浜入口交差点・長瀬新川入口交差点及び新旧国道313号との交差点で信号停止車両への追突や右折車両との正面衝突が多く発生し、死亡など重大事故が発生しています。

本事業は、事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)の対象区間として、交差点2区間の立体化による事故対策を行い、事故削減を図るものです。

2. 事業箇所

鳥取県東伯郡湯梨浜町はわい長瀬、北栄町国坂～松神

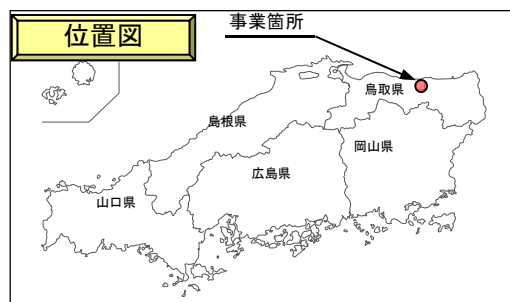
3. 平成27年度 予定事業内容

平成27年度は、湯梨浜・北栄地区の調査・設計、改良工事等を推進します。

4. 期待される整備効果

交差点2区間の立体化による事故対策を行い、事故削減を図ります。

事業推進



鳥取9号交差点改良等 (別所地区交差点改良)

道-5(倉吉)

事業費204百万円

完成予定

1. 事業の必要性及び概要

当該箇所は、山陰道「東伯・中山道路」の琴浦PAと国道9号の道の駅「ポート赤碕」を結ぶ町道別所中線と国道9号が交わる交差点です。現在、国道9号に右折車線が無く、右折待ち車両による交通障害が発生しています。

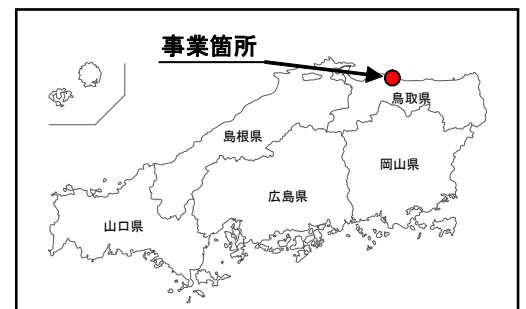
本事業は、事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)の対象区間として、交差点部への右折車線設置等により交通安全の向上を図るものです。

2. 事業箇所

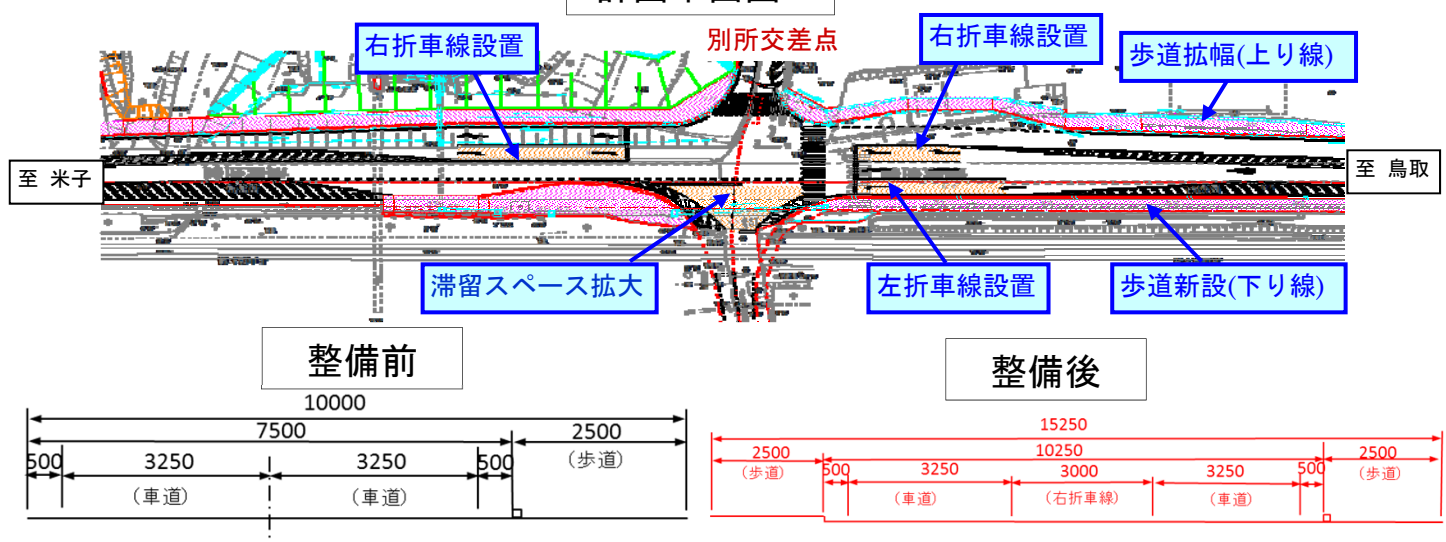
鳥取県東伯郡琴浦町別所

3. 平成27年度 予定事業内容

平成27年度の完成に向け、調査設計、工事を推進します。



計画平面図



鳥取29号交差点改良等（花歩道整備）

事業費39百万円

道-6（鳥取）

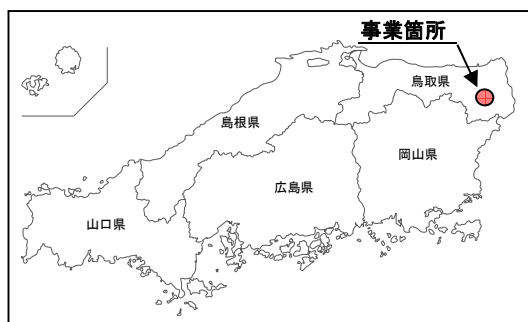
完成予定

1. 事業の必要性及び概要

国道29号の八頭郡八頭町花に位置する当該箇所では、歩道の幅が1m程度の箇所や歩道が無い箇所があり、歩行者と走行車両が近接して通行する危険な箇所になっています。

本事業は、事故ゼロプラン（事故危険区間重点解消作戦）の対象区間として、歩道の拡幅を行い、安全・安心な歩行空間の確保を図ります。

位置図



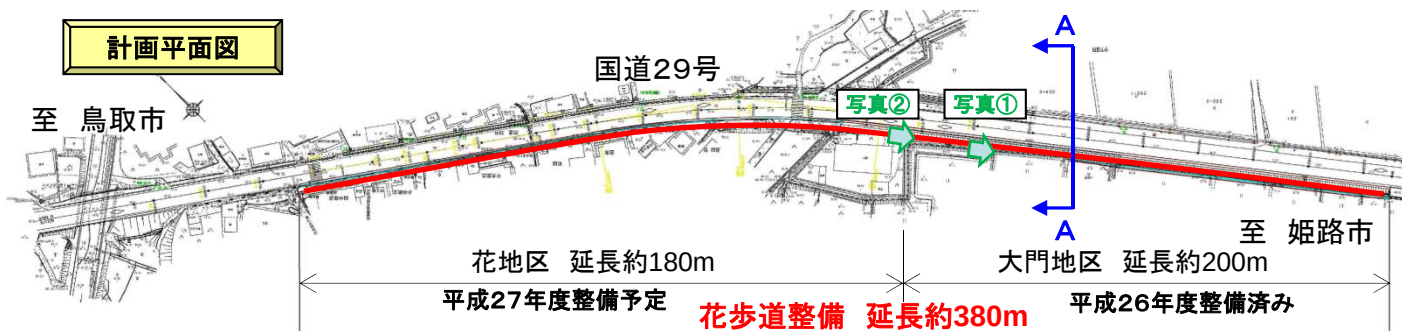
2. 事業箇所

鳥取県八頭郡八頭町花～大門

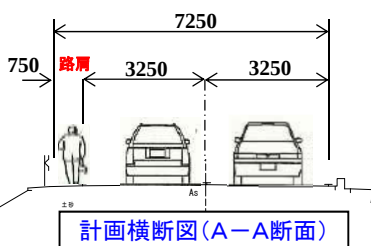
3. 平成27年度 予定事業内容

平成27年度の完成を目指し、歩道整備工事を推進します。

計画平面図



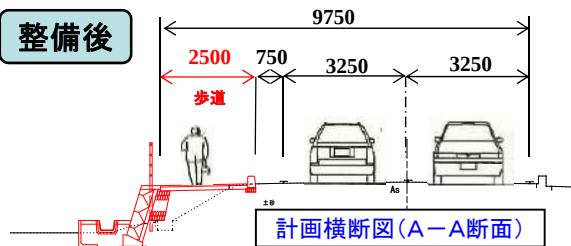
整備前



写真①



整備後



写真②



道の駅「^{しんわ さと しろ}神話の里 白うさぎ」

事業費8百万円 道-7(鳥取)

1. 事業の必要性及び概要

完成予定

道の駅^{しんわ さと しろ}「神話の里 白うさぎ」は、歴史・自然などの共通テーマを通じ、周辺観光施設及び他の「道の駅」との連携拠点となる優れた提案があり、今後の重点支援で効果的な取組が期待できるものとして、重点「道の駅」に選定されています。

平成18年のオープンから約10年たった道の駅^{しんわ さと しろ}「神話の里 白うさぎ」は、地域の観光ボランティア等による活動を行っていますが、近年の利用者増加、余暇レジャー変化等のニーズ多様化にともない、観光総合窓口としての機能強化等、多方面での改善が必要となっています。

現在、駐車場内での車両・歩行者の輻輳が発生しており、平成27年度は区画線や標識等により場内誘導の改善を行い完成させる予定です。



2. 事業箇所

^{とっとり はくと}
鳥取県鳥取市白兎
^{しんわ さと しろ}
道の駅「神話の里 白うさぎ」

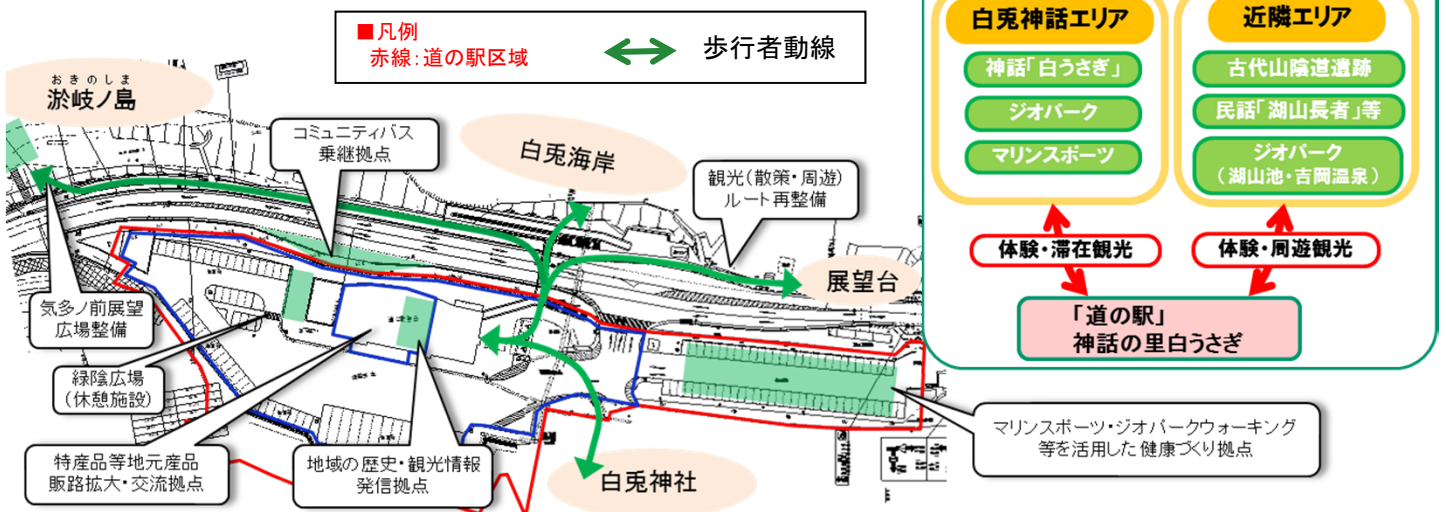


3. 平成27年度 予定事業内容

平成27年度の完成に向け、調査設計、工事を行います。

＜連携拠点イメージ＞

＜「道の駅」整備提案 平面図(案)＞



橋梁の老朽化対策

事業費約7,800百万円

道-8(鳥取)

※事業費は中国地方整備局全体で記載。

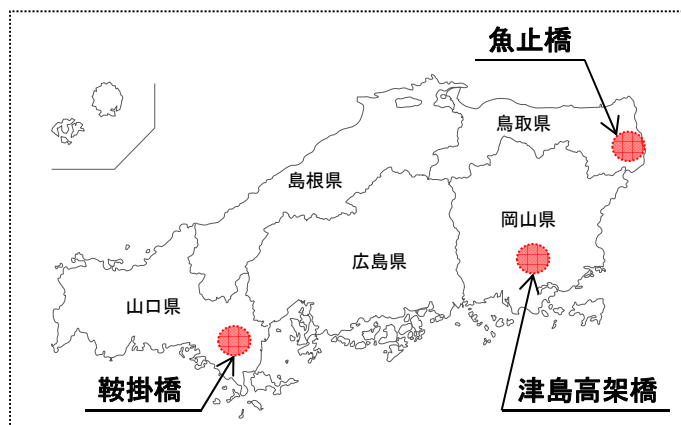
老朽化対策

1. 事業の必要性及び概要

定期点検の結果、修繕が必要と判断された魚止橋・津島高架橋・鞍掛橋など約210橋の修繕を実施することで、安全・安心で信頼性の高いネットワークの確保を図ります。

2. 事業箇所

- ・一般国道29号 魚止橋(鳥取県)
 - ・一般国道53号 津島高架橋(岡山県)
 - ・一般国道 2号 鞍掛橋(山口県)
- など約210橋



3. 平成27年度 予定事業内容

【代表事例】

魚止橋

や ず わかさちょうおぶね
(鳥取県八頭郡若桜町小船)
橋桁支持部材の改修等

津島高架橋

おかやま きた つしまきょうまち
(岡山県岡山市北区津島京町)
壁高欄の補修等

鞍掛橋

いわくに くがまちくらかけ
(山口県岩国市玖珂町鞍掛)
橋桁の補修等

全景



全景



全景



損傷状況



橋桁支持部材の老朽化

損傷状況



壁高欄コンクリートの剥離、鉄筋露出・腐食

損傷状況



主桁コンクリートの剥離、鉄筋露出・腐食

完成予定

1. 事業の必要性及び概要

鳥取港は、国際物流ターミナル(水深10m)等を中心に、山陰地方東部経済圏の拠点港として機能しています。一方、鳥取港に入出港する船舶が通航する千代航路^{せんたい}では、冬季風浪や台風等により港口付近で大小の波が発生し、中小貨物船の安全な航行に影響を及ぼしています。

このため、西浜航路^{にしはま}を新設するとともに、港内の静穏度を確保するため、防波堤の整備を推進します。

2. 事業箇所

鳥取県鳥取市

3. 平成27年度 予定事業内容

平成27年度完成に向け、防波堤(第1)(西)の基礎工、消波工事等を推進します。



4. 期待される整備効果

本事業により、港内の静穏度が向上し、年間を通じた荷役作業の効率化が図られるとともに、航行船舶の安全性向上及び避難水域の確保に寄与します。

新規着手

1. 事業の必要性及び概要

山陰地方には国内海上輸送網にミッシングリンクがあり、境港周辺の企業は非効率な輸送を強いられています。また、境水道沿いの既存施設は老朽化や背後用地の不足、船舶航行の安全性の課題から、他地区への移転・集約が急務となっています。さらに、境港に定期就航している航路が利用している岸壁は非耐震であり、大規模地震発生時の物流機能確保並びに離島航路等の継続的な就航が課題となっています。

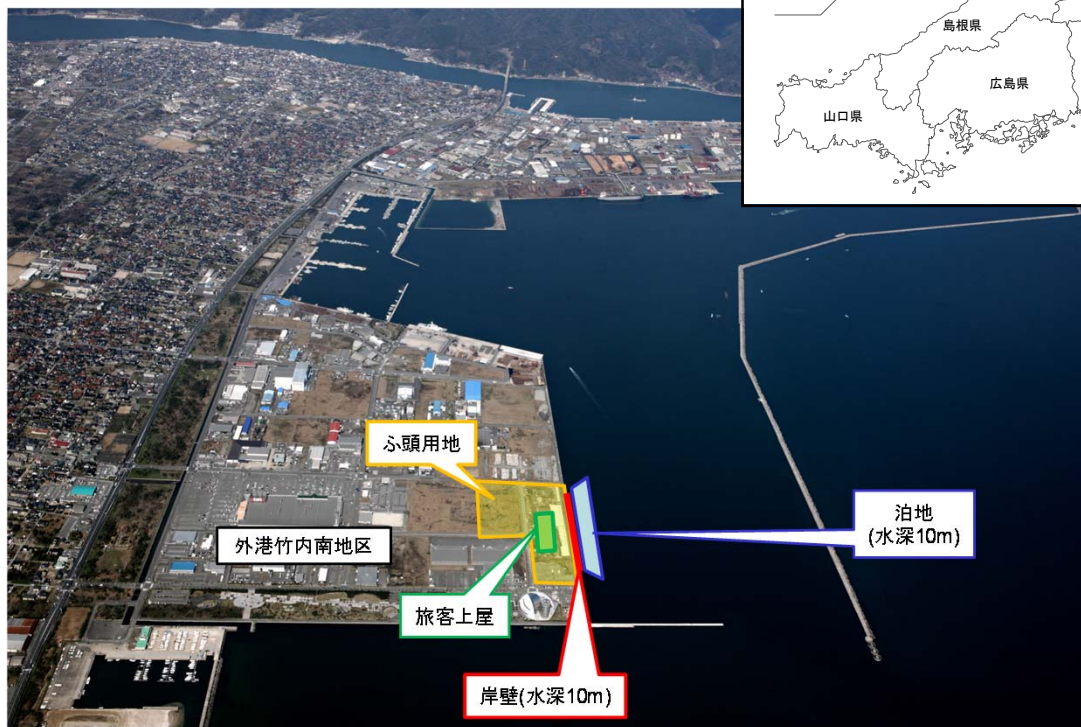
このため、境水道側の既存施設の移転や新たな内貿RORO船に対応したターミナルを整備・耐震化することで、境港のふ頭再編を行い、物流機能の効率化、山陰地方の産業競争力強化を図ります。

2. 事業箇所

鳥取県境港市

3. 平成27年度 予定事業内容

岸壁(水深10m)の整備に必要な調査、設計等を実施します。



4. 期待される整備効果

本事業により、既存ストックが整理され、維持管理コストが削減されるとともに、国内海上物流のミッシングリンクの解消、並びに物流効率化により、境港背後圏をはじめとした山陰地域の産業競争力強化が図られます。

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

山陰地方の中央に位置する境港は、背後圏に製紙、木材加工、鉄鋼等、多くの企業が立地し、原材料の輸入や製品の輸出等を通じ、地域の経済活動を支えており、日本海沿岸地域を代表する国際物流拠点として更なる役割を担うことが期待されています。

しかし、貨物量の増加や船舶の大型化に伴い、大型岸壁やふ頭用地の不足等の問題が顕在化してきており、非効率な輸送の解消が喫緊の課題となっています。

このため、外港中野地区に、3万トン級の大型船に対応した国際物流ターミナルを整備します。

2. 事業箇所

鳥取県境港市

3. 平成27年度 予定事業内容

平成28年度完成に向け、岸壁(水深12m)の裏込・裏埋工、上部工事等を推進します。



4. 期待される整備効果

本事業により、将来増加する多様な貨物の取扱を円滑に行うことが可能となるとともに、利用企業の物流コストの削減が図られること等を通じ、地域産業の国際競争力強化、雇用の確保等に寄与します。